オホーツクキャンパスMy Style

1日編

３年次に入室希望の研究室に通って先輩の実験や研究の進め方を見学し研究領域を絞る際の参考にしました

二階堂 桃花（埼玉県立大宮北高校出身）

生物産業学部食品香粧学科３年
住まい／ひとり暮らし
アルバイト／市内の飲食店
クラブ・サークル／おいしいパン研究会

２年次は３年次から所属する研究室を探す期間でもあります。私は応用微生物学研究室への入室を希望しているので、今日はその研究室を訪問して、先輩たちに実験技術のレクチャーを受けました。また、おいしいパン研究会の活動が２週間ぶりにあり、最新設備がそろう食品加工技術センターに集まって、香ばしいパンづくりをみんなで楽しみました。

二階堂さんの時間割（２年次前期）

	月	火	水	木	金
１時限		英語(三)	生物化学	食品機能学	
２時限	食品化学		微生物学	食品栄養学	
３時限	倫理学	有機化学	食品化学実験	食品機能学実験	食品衛生学実験
４時限	食品開発論				
５時限				特別講義(二)	

二階堂さんの１日（２年次）

7:00 起床　毎朝遅くとも７時には起床します。今日は１時限目から授業があるので、８時半に家を出て、すぐ近くのバス停へ。

8:45 キャンパスに到着

アパートから大学まではバスで約10分。冬でもバスが遅れることはまずありません。キャンパス内のロータリーから１時限目の英語の教室へ。

9:00 １時限目の授業（英語）

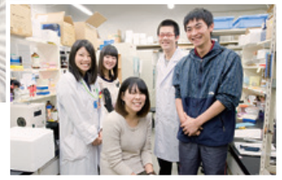
英語（三）の授業では、短文を通して文法を覚え直します。今日は「譲歩を表す構文」がテーマでした。

10:40 図書館で資料をコピー

研究室の先輩を訪ねる前にちょっと調べもの。図書館（学術・情報センター）で、有機化学の文献を探してコピーをとりました。

10:55 入室予定の研究室を訪問

入室を希望している応用微生物学研究室を訪問し、先輩に有機化学に関する質問をしました。さらに研究室の実験の進め方も教えていただきました。



先輩たちはみなさんとてもやさしく、入室できる日が待ち遠しい思いです。

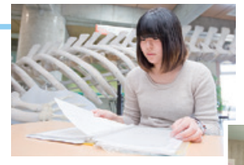
13:30 学食で友人とランチ

学食は２つあり、席数が多くて広い第二食堂の「クリオネ」をよく利用しています。今日は入試の日に知り合って以来仲良しの友人と久々にお喋りしながら楽しくランチ。

14:20 ３時限目の授業（有機化学）

食品化学や栄養学を学ぶために必要な有機化学の授業で、今日は有機化合物の化学反応とエネルギー変化について学びました。

14:40 学生ラウンジでノート整理と情報検索



クジラの骨格標本が展示されている学生ラウンジは、自主学習に適したスペースです。有機化学は覚える項目が多いので、ポイントを忘れないうちにノートに整理。

またラウンジ隣には利用自由のPCコーナーもあり、よく論文の検索をおこなっています。

15:40 サークルでパンづくり

今日は久々においしいパン研究会の活動日。食品製造の大型機器が整った食品加工技術センターに集合してパンを作り、焼きたての香ばしい風味を楽しみました。

18:00 アルバイトへ

アルバイトのために大学から網走市街に向かうバスを待つ間、近くのベンチで先輩に教えてもらった実験の手順を再チェック。

オホーツクの美味しい食材は自炊に最適です！

［１カ月の収支］

●収入	
仕送り	40,000円
アルバイト	60,000円
収入合計	100,000円
●支出	
家賃	45,000円
食費	10,000円
光熱費	12,000円
雑費・娯楽	8,000円
交通費	5,000円
貯金	20,000円
支出合計	100,000円

アルバイトはしゃぶしゃぶ屋さんで週３～４回。夕食に賄い食が出るので大助かりです。バイトのない日は友人と自炊し合って、お互い節約に努めています。オホーツクの美味しい食材のおかげで、自炊も自然と楽しくなりますね。親からの仕送りは月に２万円までしか使わないことに決め、残りは貯金しています。

帰宅 21:30

１年編

地域活性化の手がかりを探り続け体育祭や収穫祭を消費市場に仮想しさまざまなビジネスモデルに挑戦

北條 裕己（神奈川県・相洋高校出身）

生物産業学部地域産業経営学科４年　地域産業資源研究室（笹木ゼミ）
住まい／ひとり暮らし
アルバイト／農家バイト・ホタテバイト
クラブ・サークル／ダンスサークル

経営学に興味があり、入学後は生産（１次産業）から加工（２次）、流通（３次）までのすべてを地域の産業が連携しておこなう「６次産業化」の取り組みに高い関心をもちました。３年次からの１年間は研究室で地域の生物資源を生かす産業のあり方を学び、とくに漁業の振興に焦点をあてた研究を進めています。将来は故郷の小田原市を活性化させる取り組みに参加したいと考えています。

北條さんの時間割（３年次後期）

	月	火	水	木	金
１時限	現代環境論	英語(四)	簿記Ⅱ	生物産業技術論	
２時限	プランクトン学	ゼミナール	アグリフードシステム論		ビジネスモデル戦略論
３時限	流通経済論	中国語	水産微生物学		副ゼミナール
４時限				スポーツの科学	
５時限		特別講義(四)			
集中	地理学	宗教と人間			

北條さんの１年（３年次）

4月 研究室に所属

１年次のゼミで担当教員だった笹木先生のいる地域産業資源学研究室に入室し、本格的なゼミ活動がスタートしました。

5月 ホタテバイトに参加

昨年に続き大学の友人たちと今年もホタテバイトに参加しました。ホタテ収穫期の集中作業を通じて、水産業の現実を体験する絶好のフィールドワークになりました。

試験的なビジネスモデルを考案

インターネットのバナー広告を利用した通信販売のビジネスモデルを考案。網走市内の海産物販売会社の協力を得て、ネット上で試験的に運営し、予想以上の成果をあげることができました。それ以来、この会社の販売店を度々訪れるようになりました。

6月 学外のフィールドワークを拡大

６次産業化の事例を地域の生の姿から自分の目で確認するため、網走市街や漁港、生産農場、牧場などを時間の許す限り訪問することにしました。

7月 前期定期試験

8月 夏休み

帰省して父の仕事の手伝い

実家に帰省して外車ディーラーを運営する父の会社を手伝いました。顧客に納車する仕事を通じて、商品管理と顧客ケアの重要さを身に染みて学ぶことができました。

9月 後期授業開始

体育祭でサークルから出店

今年から開催されることになった体育祭で、ダンスサークルが出店したノンアルコールカクテルが売り切れになる盛況を得ました。仕入れからすべて自分たちでおこなった努力が報われました。

11月 収穫祭ではコーヒーを販売

収穫祭ではコーヒーの販売を企画。ブラジルから豆を直接仕入れ、キャラメルマキアートも加えましたが、売り切れを心配して初日の販売数を抑えたことで、最終日に在庫が残ってしまいました。販売ビジネスを学ぶ大きな教訓になりました。

研究室のゼミ研修で道南を訪問

笹木ゼミの研修旅行に参加。国産ウィスキー製造の聖地である余市町をはじめ、道南の酒類製造施設を視察して巡りました。施設への水の供給環境にも注目し現地調査を実施しました。

12月 冬休み

クリスマスにダンスイベントを開催

日頃のダンスの鍛錬の成果を披露するダンスイベントを市内で開催しました。地域の若い世代の人々と交流を深めるいいきっかけになったと思います。

1月 後期定期試験

公共施設の雪かきボランティア

網走市内視察中に知り合った地域の方々と一緒に、市の公共駐輪場の雪かきをするボランティアに参加。共同作業を通じて交流は一段と深まり、地域をより理解するはずみになりました。

2月 卒業研究のテーマ探し

４年次におこなう卒業研究のテーマについて検討を始めました。現在は東京農大バイオインダストリーで販売されるような、未利用資源を使った工芸商品の開発に興味をもっていますが、もう少し周辺情報を整理してから絞っていきたいと思います。

4年次へ